

株式会社 アプライデンス



COMPANY DATA

業 種 社会保険・社会福祉・介護事業
事業内容 保育園運営
創 業 2011年8月
代 表 者 代表取締役 木村 博志
所 在 地 川崎市多摩区登戸 2949-1
従業員数 65名



ホームページは
こちら



企 業 紹 介

川崎市認可保育園や0歳児から2歳児専門の企業主導型保育園など川崎市多摩区を中心に5園の保育所運営を行っている。乳幼児期に大切な普段の関わり合いに力を入れた保育が特徴で、小規模園ならではのきめ細やかな対応も魅力の一つとなっている。



▲保育支援クラウドシステムにより、職員間の情報共有が進み多面的なサポートができるようになった。

保育支援クラウドシステムを導入 事務作業に投入する時間を削減 監査対応のスムーズ化とペーパーレス化を実現

保育日誌・保育計画の作成作業に多くの時間を要していたが、システムの導入により生じた余剰時間を子どもたちと接する時間に充てることで保育サービスを向上

1 経 営 課 題

Task

保育日誌・保育計画の作成作業に多くの時間を要していたことから、この改善で生じた余剰時間を子どもたちと接する時間に充てることで保育サービスの質の向上を目指しました。保育計画は日案、週案、月案の3パターンをクラス毎に作成。さらに、園児個別の目標作成も含めると、職員1人あたり週に概ね5時間から10時間を書類作成作業に充てていました。また、園児の保護者の多くもスマホ世代であり、手書きの連絡帳などのオンライン化、システム化が求められていました。

2 取 組 概 要

Approach

各園に保育支援クラウドシステムとタブレット端末を導入しました。PC操作に慣れた職員をキーマンとしながら職員間で浸透を進めましたが、小型タブレットの画面操作に慣れるまでに時間がかかる、タブレットのOSが更新されると動作が不安定になり不慣れた職員が混乱するなどの問題も生じました。また、システムに搭載の書式が従来使っていたものと異なるため個別の細かなカスタマイズが必要で、各園の担当者が管理できるかどうかによって温度差も出てくるなど、運用面での課題も判明しました。

3 実 施 効 果

Effect

書類作成は従来の経験と勘に頼ってきましたが、イチから考えるのではなく、システムに組み込まれたテンプレートを活用することで書類作成作業に要する時間が削減できました。さらに、作成した文書や過去のイベント情報が随時システムに蓄積され、その学習データの成長に伴い過去の履歴を参照できるなど、利便性向上に伴い今後も作業時間の削減が期待できます。ペーパーレス化も実現、従来紙で管理していた情報検索も容易になり、かつ入退出園記録もシステムで管理するため正確なデータを取得することが可能となりました。

成果
1

作業時間削減

導入前比率 1 / 4 削減

成果
2

ペーパーレス化の実現

過去履歴の蓄積と学習データの成長

作業時間の削減に貢献

成 功 要 因

- 手書きよりは機器を活用するほうが効率的と思っていた職員が多かった点
- 一部機能を活用していたシステムを全面導入したことで、画面構成などが職員、保護者双方にとって親しみやすかった点

IT導入とオペレーションの改善の繰り返しが欠かせません

ITの導入で短期で爆発的な業務削減効果は見込めませんが、繰り返し使い職員の習熟度が上がることで、更なる業務効率向上が見込めると期待しています。保育業界にITが入ってきたのはつい最近。今回導入したシステムも一部機能を使い始めた段階であり、現場オペレーションの改善を通じて、保育の世界でITに慣れていき、保育サービスの向上につながる新しい文化を構築したいと考えています。事業所の人数定員など園により規模が異なるため一律に生産性が向上するわけではなく、例えば定員10名以下の小規模事業所であれば導入やカスタマイズの手間が効率向上を阻むこともあります。多様な規模や特性に応じた汎用性の高いシステムの普及が望まれます。

代表取締役 木村 博志

社 員 の 声

- これまで手書きと紙で管理して、過去の履歴を検索する時間とコストがかかっていましたが、それを大幅に削減できました。
- 従来は様々な書類を広げて確認していましたが、システムで照合できるようになったことで、合間時間を活用して場所を取らずに作業できるようになりました。
- 他のクラスの状況が簡単に把握できるため職員間の連携が確実に進みます。職員間で情報共有することで一人だけの関わりではなく多面的なサポートができるようになりました。

今 後 の 展 開

・シフト作成は従来は手書きで作業しExcelに入力していましたが、今回導入したシステムが提供するシフト作成機能を使うことで作業の簡素化が実現すると同時に、職員の稼働状況もすぐに把握できます。現状では、システム側で変形労働性への対応など時間帯のカスタマイズへの制約があり改善策を模索しています。